

令和元年度 「学校評価」について (報告)

10(12)月に実施しました学校評価アンケート調査について、多くの貴重な意見をいただきました。ありがとうございます。評価の結果がまとまりましたので報告いたします。

◇実施日・対象・回収率

実施日 令和元年10月28日
 対象 全校生徒
 回収率 88.9%

◇評価段階

A：当てはまる B：どちらかといえば当てはまる
 C：どちらかといえば当てはまらない D：当てはまらない

肯定的評価(A+B)が90%以上：◎, 60%以上：○, 50%以上：△, 50%未満：▲

◇評価領域ごとの結果と分析(数値の単位は%)

1 教育活動全般に関する評価領域

No	評価項目	A			B			C			D			A+B	評価
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
1	学校は自主性・創造性のある生徒を育てようとしている。	31	50	48	46	43	43	14	6	7	8	1	2	91.0	◎
2	学校行事は楽しく有意義に行えるよう配慮されている。	40	53	51	38	41	41	15	5	6	7	1	2	91.5	◎
3	学校行事は運動面と文化面でバランスがよくとれている。	37	55	52	41	36	36	15	7	8	7	2	3	88.8	○
4	学校生活は充実している。	42	57	54	32	37	36	16	4	6	10	2	3	90.8	◎
5	学習活動、学校行事、部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる。	40	58	55	40	36	37	11	5	6	9	1	2	91.8	◎
6	校舎やグラウンドなどの施設・設備は整備されている。	23	19	19	25	35	33	31	33	32	21	14	15	52.5	△
7	学校便りや学校ホームページなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	31	32	31	44	50	49	16	14	15	10	4	5	80.3	○
8	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	44	44	44	39	47	46	14	7	8	4	2	2	89.4	○

項目1「自主性・創造性」、5「特色ある学校づくり」については肯定的評価がどちらも90%を超える回答でした。多くの生徒が学習活動・学校行事・部活動などで充実した生活を送っている様子が見えます。また、項目7「学校便りやHPでの情報提供」については、ホームページの更新記事は昨年に比べ大幅に増えており、1,2年次ではClassiによる情報発信も多く行っています。印刷物の「お便り(通信)」は、各年次や校務分掌などでタイムリーな情報発信に努めていきます。

項目6「施設・設備」については、昨年度と同様に、厳しい評価がなされています。校舎改築をひかえている事もあり、大きく改善が見込める状況にはないのですが、校内で解決可能な問題には今後も出来る限り対応を考えていきます。

項目8「災害・非常時の対応」については昨年度と比較して特に大きな変化はありませんでした。今後も適切な情報発信、防災意識の向上に努めていきたいと考えています。

2 学習活動に関する評価領域

No	評価項目	A			B			C			D			A+B	評価
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
9	生徒一人一人の個性を伸ばす教育課程（カリキュラム）が編成されている。	24	31	30	36	51	48	24	15	17	16	3	5	78.4	○
10	2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている。	38	41	40	42	46	45	14	11	11	6	2	3	85.8	○
11	教科の年間指導計画や評価の仕方について説明されている。	39	44	43	46	47	47	11	7	8	4	2	2	89.8	○
12	教科の学習方法について説明されている。	37	33	34	39	51	50	19	13	14	6	3	3	83.3	○
13	分かりやすい授業への工夫・改善が行われている。	37	33	34	41	54	52	15	10	11	7	3	4	85.4	○
14	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	32	29	30	33	55	52	26	13	15	8	4	4	81.0	○
15	授業の進度は適切である。	35	36	36	47	54	53	12	9	9	6	1	2	88.8	○
16	学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある。	44	46	46	36	41	40	16	11	12	5	2	2	86.2	○

今年度は昨年度に比べ、全ての項目でプラスの評価を受けました。特に、昨年の課題点であった項目14「学ぶ意欲」の値が今回81%と昨年度と比較して8.5ポイント上昇し、教務部の質問項目の中では特に上昇した数値となっています。各教科の授業が、生徒の学ぶ意欲を引き出し、わかりやすく、学力を身につけられるような充実した内容となるよう、教員の側の意識改革がすすんだものと考えます。ICTの利活用やアクティブラーニングを取り入れた授業についての研修や授業公開などの態勢の強化を更に進めるとともに、生徒による授業評価を客観的に分析し、授業改善に取り組んでいきます。

3 進路指導に関する評価領域

No	評価項目	A			B			C			D			A+B	評価
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
17	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	36	41	40	44	46	46	14	11	11	6	2	3	86.0	○
18	職業・仕事についての情報提供が的確になされている。	35	33	33	38	45	44	19	17	18	8	5	5	77.2	○
19	大学、短大、専門各種学校など、上級学校についての情報提供が的確になされている。	35	41	40	45	44	44	12	11	11	7	3	4	84.8	○
20	生徒の進路について相談に応じる体制ができています。	36	43	42	48	46	46	8	8	8	7	3	3	88.5	○
21	進学へ向けての学習指導が充実している。	38	45	44	40	44	44	14	8	9	8	3	3	87.9	○
22	模擬試験は適切に実施されている。	40	51	49	42	42	42	11	6	7	7	2	2	90.8	◎
23	課外講習は適切に実施されている。	40	49	47	45	43	44	9	6	7	6	2	2	91.1	◎
24	進路ガイダンス・進路講話は適切に実施されている。	37	45	43	45	47	46	12	7	8	6	2	2	89.8	○
25	「進路の手引」などの進路資料は有意義である。	39	53	51	43	41	41	11	5	6	7	1	2	91.9	◎
26	生徒が進路について自ら調べられるような環境が整っている。	45	50	49	41	44	43	9	6	6	5	1	2	92.3	◎

「総合的な学習（探究）の時間」や進路行事を通して、将来どのように生きていくことが望ましいのかを考えるきっかけを作っています。さらに、希望があれば講師の方々に対して随時、質問や疑問点をうかがえる準備もしております。また、学力向上に向けて実力テスト、校内模試、外部模試、課外講習等を実施しています。これらは希望する進路を見だし、それを実現するための必要条件でしかありません。これらの活動をきっかけに主体的かつ意欲的に取り組み、その活動で得た知識や考え方を自分なりに咀嚼することを促していきたいと考えています。

4 生徒指導に関する評価領域

No	評価項目	A			B			C			D			A+B	評価
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
27	生徒一人一人が生き生きとした学校生活を送れるよう配慮されている。	39	44	44	39	47	45	14	7	8	8	2	3	89.1	○
28	保護者との連携がしっかりしていて、様々な問題に即応できる体制が整っている。	31	32	32	41	48	47	18	16	17	11	4	5	78.7	○
29	教員と生徒がかかわりあう時間が十分にある。	42	35	36	37	47	45	16	15	15	6	3	4	81.1	○
30	学校行事、ホームルーム活動が活発に行われている。	43	53	52	44	39	40	7	7	7	6	1	2	91.8	◎
31	学友会、各種委員会の活動が盛んで充実している。	37	35	35	39	47	46	15	14	14	9	3	4	81.5	○
32	部活動が活発に行われている。	48	56	55	37	37	37	9	6	6	6	1	2	91.8	◎
33	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	36	34	34	35	44	43	14	17	17	15	4	6	77.5	○
34	学校として、日頃からいじめの問題に対応する体制が整っている。	35	37	37	37	50	48	16	10	10	12	3	4	85.2	○

部活動・学校行事・ホームルーム活動が活発に行われていると多くの生徒が評価し、中でも学友会、各種委員会活動の評価が、前年度より6ポイント上昇しました。本校の伝統が脈々と受け継がれていることを感じます。一方で、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導があまり徹底されていないという結果が出ています。校風の「自主自律」は、主体的に行動するだけでなく、客観的に自己を律することのできる人格の形成をめざしています。高校生活について、今一度見つめ直す機会を考えていきます。

5 健康管理に関する評価領域

No	評価項目	A			B			C			D			A+B	評価
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
35	必要なときに、悩みや困りごとの相談に応じてくれるカウンセリング体制が整っている。	38	44	43	38	47	46	12	7	8	12	2	4	88.5	○
36	保健調査や健康診断などが適切に行われており、健康管理に取り組んでいる。	42	48	47	39	46	45	16	5	7	4	1	2	91.5	◎
37	健康に関する指導を適切に行われている。	39	43	43	44	48	47	12	8	9	5	1	2	89.7	○
38	健康や体について困ったとき、相談に応じる体制が整っている。	41	49	47	42	43	43	13	6	7	5	2	2	90.5	◎
39	校舎を衛生的に管理されている。	31	19	21	29	37	36	26	30	29	14	15	15	56.2	△

健康管理に関する評価については、昨年度よりも若干数値が上昇しました。多くの生徒から概ね良好であるとの評価となっています。生徒が安心して学校生活を送れるようなサポート体制がある程度出来ていると感じています。校医の先生方による健康相談も利用され、生徒の健康管理にも大変役立っているようです。今後ともより一層利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。

校舎の衛生的な管理の評価は56.2%で、相変わらず低い評価となっていますが、昨年度より若干上昇しました。その要因として考えられるのは、トイレをはじめとして清掃やマナーが昨年度よりもしっかりできてきたからだと思われます。トイレ清掃の分担は、昨年度から前期・後期で分担クラスを変えることで多くの生徒がトイレ清掃にあたっています。老朽化した校舎をいかに快適な環境にするかということは本校の課題であると思いますので、より一層の環境美化について働きかけ、清掃の徹底に努めていきたいと考えています。

カウンセリングについては、項目35「カウンセリング体制が整っているか」という質問に、概ねあてはまると考えている人が多いようです。しかし、あてはまらないのではとの回答も、全体で10数%ありました。今後、カウンセリングをより受けやすくすることやカウンセリングを含めた相談の形態についてさらに検討していきたいと思います。また、実施予定日や申込方法、利用するにあたってアドバイスなどを、分かりやすくお知らせしていきます。